

報告事項 2

令和元年度事業実施（計画）状況

I 新しい但馬づくりを担う人材等の育成に関する事業

但馬の多彩な魅力を再認識、再発見することにより、新しい但馬づくりを担う人材を育成するため、次の事業を行う。

1 但馬ふるさとづくり大学事業

(1) 但馬ふるさとづくり大学

但馬の自然・歴史・文化など多様な地域資源を活かした地域づくりの学習を通して、但馬の再発見、地域に対する誇りや愛着心の醸成を行い、新しい但馬づくりの担い手を育成する。

また、地域づくりの現場を巡る現地学習を実施する。

- ① 期 間 5月11日（土）～11月2日（土）
- ② 会 場 県立但馬長寿の郷、豊岡市民会館など
- ③ 受講決定者 93名
- ④ 講座内容 13講座（現地学習含む）

| 開催日 | 内 容 |
|---------|--|
| 5/11(土) | 〈開講式〉 ①小さなまちの地元企業が但馬を盛り上げる～歌と映画と武将とおばあかふえ～ 講師 久村 謙藏 氏（株式会社但馬寿常務取締役） |
| 6/15(土) | ②③ <地域づくり現地体験講座> 豊岡市竹野町 竹野港海町マーケット&川湊まちあるき体験 講師 永田 兼彦 氏（竹野漁協竹野支所運営協議会） 案内 青山 治重 氏（たけの観光協会会長） |
| 7/6(土) | ④⑤ <地域づくり現地体験講座> 朝来市生野町 生野の町並みを生かした地域づくりと地域文化の復興 講師 小島 公明 氏（いくの地域自治協議会事務局長） 案内 口銀谷の町並み案内人 |
| 8/17(土) | <但馬文教府第52回夏期大学－特別講座－> ⑥信頼しよう、任せよう～梨田流コミュニケーション術～（仮題） 講師 梨田 昌孝 氏（東北楽天ゴールデンイーグルス前監督） ⑦働くことは生きる事～逆境が私を育ててくれた～（仮題） 講師 中園 ミホ 氏（脚本家） |

| | |
|---------|---|
| 8/31(土) | <p>⑧⑨ <地域づくりグループワーク講座> たじま・まちづくりカフェ～身近なまちづくりを考える～ アドバイザー：山室 敦嗣 氏 (兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科教授) 事例報告①：地域資源を活かした新旧住民の融合～豊岡市福田地区 を事例に～ 発表者①：西垣 義嗣 氏 (FMジャングルパーソナリティ) 事例報告②：新しいコミュニティのこれからを考える～朝来市東河 地区協議会をヒントに～ 発表者②：梶本 陽介 氏 (朝来市職員)</p> |
| 9/29(日) | ⑩第14回但馬検定試験 |
| 10/5(土) | <p>⑪イベントが生み出す地域との交流 講師 田尻 茜 氏・河田 愛 氏 (香美町地域おこし協力隊) ⑫楽しくなければ闘わない～三階建養蚕住宅に集う人たち～ 講師 和田 祐之 氏 (おおよ村役場の会会員)</p> |
| 11/2(土) | <p>⑬日本遺産「北前船寄港地・船主集落」を通じた地域の活性化 講師 新古 雅紀 氏 (諸寄歴史と文化の薫るまちづくり委員会事務局長) <閉講式></p> |

(2) 但馬ふるさとづくり大学聴講制度

仕事の都合等で継続的な参加が難しい方に学習の機会を提供するため、興味のある講座、都合のつく日の講座だけを受講できる聴講制度を実施する。

2 未来を担う人材育成事業

(1) たじまお仕事探検隊

但馬の将来を担う子どもたちに、但馬の産業や優れた技術を持つ企業等について学ぶ機会を提供し、地元への愛着や誇りに思う心を育て、但馬に住み続けたい、将来但馬に戻りたいという気持ちを醸成する。

① 講座内容

| 開催日 | 内 容 |
|-------------|--|
| 7/20 (土) | <p>「豊岡かばんのお仕事を学ぶ」 場所 アルチザン、株式会社羽倉 (豊岡市) 内容 豊岡鞆の歴史について学ぶとともに、鞆職人の養成スクールや 鞆工場の見学、鞆づくりに係るワークショップを予定。</p> |
| 8/7 (水) | <p>「測量のお仕事を学ぶ」 場所 株式会社オーシスマップ (養父市) 内容 測量の仕事を学び、ドローンなどの最新機器の見学・体験を予 定。</p> |

| | |
|-------------|---|
| 8/19 (月) | 「湯村の旅館・観光のお仕事を学ぶ」 場所 朝野家、湯村温泉観光協会（新温泉町） 内容 おもてなしの心、所作や礼儀を学び、観光客に楽しんでもらう取組みの体験を予定。 |
|-------------|---|

- ② 募集人員 各20名
- ③ 参加対象 小学校4～6年生

(2) 高校生特派員等養成事業（新規）

高校生が自身の携わっている地域活動情報をより魅力的に発信できるよう、魅力を発見する力、表現する力を身に着けた人材を育成する。

また、実習の場として、但馬情報特急のブログコーナーを活用する。

- ・モデル校2校（村岡高校、和田山高校）
- ・5/8(水)村岡高校で第1回ミーティングを実施
情報を伝えるコツなどを講師から学習
掲載記事の選定、役割分担、スケジュールの打ち合わせなど

3 但馬検定事業

(1) 第14回但馬検定の実施

但馬の自然・歴史・文化などを幅広く楽しく学ぶことで、地域の魅力を再発見し、但馬内外へその魅力を発信するとともに、但馬を訪れる人々に対するおもてなしの向上につなげる。

- ① 試験日 9月29日（日）
- ② 会場 県立但馬長寿の郷
- ③ 試験種類 1級、2級、3級
- ④ 募集人員 180名

また、観光協会や企業等の観光関連団体への企業ぐるみの受検を働きかけるとともに、事前講習会を開催するなど検定のPRや裾野の拡大に努める。

- ① ミニ検定講座の実施
 - ・日程 5月28日（火）
 - ・会場 但馬文教府みてやま学園大学院（豊岡市）
 - ・対象 大学院生15名
- ② 事前講習会の実施
 - ・日程 8月～9月
 - ・会場 豊岡市、養父市

(2) 但馬事典「ザ・たじま」の改訂

現行の「ザ・たじま」を発行してから3年が経過することから、掲載内容を更新し、改訂版を発行した。（作成部数1,000部、発行日4/27）

(3) 「ザ・たじま」サイトの作成（新規）

子どもを含めた幅広い世代が但馬の地域情報に楽しみながら触れる機会として、「ザ・たじま」サイトを開設する。

- ① 小中学生でも楽しく取り組める地域クイズコーナー
- ② 但馬検定模擬試験の体験コーナー
- ③ 但馬事典「ザ・たじま」2019年版のウェブ化

Ⅱ 交流促進による新しい但馬づくりに関する事業

但馬地域内外との交流促進や地域情報の発信等を通じ、交流・移住人口の増加、地域活性化及び観光振興を図るため、次の事業を行う。

1 たじま田舎暮らし推進事業 [県民局委託分]

但馬地域への移住・定住を促進するため、「たじま田舎暮らし情報センター」を運営し、市町等と連携した移住希望者への情報提供や支援事業を展開する。

(1) 移住相談員の配置

情報センターに移住相談員を配置し、U・Iターンを考えている者への移住相談、各市町、兵庫県宅地建物取引業協会と連携した物件紹介等の移住支援を行う。

(2) 都市部への情報発信

たじまU・Iターン情報サイト「ひょうご北部で暮らす」で情報発信をするとともに、田舎暮らしのPRイベント・相談会に参加して、但馬地域の田舎暮らしに関する情報を提供する。

(3) 移住・しごと相談会の開催

移住にあたって切り離せない移住後の仕事についても関係団体等と連携してワンストップで相談できる移住・しごと相談会を都市部で開催する。

- ① 開催日 10月27日（日）
- ② 場 所 OMMビル（大阪市）

(4) 京都府・鳥取県と連携した移住相談事業の実施

社会・経済的に広域的な繋がりのある京都府・鳥取県と共同で移住相談会等を大阪等で開催する。

- ① 京都府との連携イベント
 - ・開催日 8月3日（土）
 - ・場 所 シティプラザ大阪（大阪市）
- ② 鳥取県との連携イベント
 - ・開催日 10月19日（土）
 - ・場 所 Largo（ラルゴ）（大阪市）

(5) たじま移住体験オーダーメイドツアーの実施（新規）

子育て施設や空き家の見学、地元住民との交流など、移住検討者個々の具体的な要望に応じてきめ細やかに対応できるオーダーメイド型のツアーを実施する。

2 但馬四季彩イベント事業

平成6年の「但馬・理想の都の祭典」の開催趣旨を受け継ぎ、但馬地域内外との交流、地域資源の情報発信及び地域活性化を目的に開催される広域的なイベントについて、実行委員会に対して開催経費を助成する。

(1) 但馬“牛まつり”

- ① 日 程 9月(予定)
- ② 助成金額 2,100千円

(2) 但馬・食文化まつり

- ① 日 程 11月(予定)
- ② 助成金額 2,100千円

3 地域情報発信事業

各種広報媒体を多角的に活用し、観光・自然・イベント・ニュースなど但馬に関するあらゆる情報をタイムリーかつわかりやすく提供する。

(1) ホームページ「但馬情報特急」の運営

平成30年度に全面リニューアルして但馬の魅力情報発信を強化した「但馬情報特急」を活用し、但馬に関する最新の情報、魅力ある情報を多分野にわたり収集し、提供する。

(2) 但馬ツーリズムマップの制作

但馬の多彩な魅力を発信し、交流人口を増やすことを目的にマップを発行する。
また、引き続き、広告掲載による経費節減を図る。

- ① 部 数 15,000部
- ② 配布先 観光協会、道の駅、観光施設、宿泊施設など

(3) 情報誌「T2」の発行

但馬の魅力を様々な切り口で紹介するとともに、但馬地域内の観光・イベント等の各種情報を発信するため、情報誌を発行する。

- ① 発行時期 年3回 [夏(7月)、秋(11月)、春(3月)]
- ② 発行部数 各8万部
- ③ 仕 様 A4判カラー印刷(20ページ)

- ④ 配布先 但馬内7万部、但馬外1万部配布
但馬全戸、但馬ファンクラブ会員、同協賛施設、旅行会社、
報道機関など

4 但馬ファンクラブ事業

但馬の魅力をPRし、地域内外の住民の交流促進、地域活性化及び観光振興を図るため、但馬ファンクラブを運営するとともに、イベント会場などで会員を募集する。

(1) 会員向け事業

- ① 施設利用の割引等が受けられる会員パスポートの発行
- ② 但馬の情報誌等（T2、パンフレット）の送付
- ③ 但馬の特産品、スイーツのプレゼント
- ④ 但馬内のミュージアム無料招待券配付
但馬内の美術館等に無料で入館できる招待券を提供。
 - ・実施期間 4月6日（土）～12月1日（日）
 - ・対象施設 玄武洞ミュージアム、植村直己冒険館 ほか6施設

(2) 入会PR事業

- ① 各種イベントでのPR活動（但馬まるごと感動市、神戸ルミナリエなど）
- ② 兵庫県道路公社などとのコラボ企画の実施
- ③ 但馬外からのリピーターの多いイベントに1年会員権を景品として提供
（たたらぎダム湖マラソン大会、みかた残酷マラソン全国大会、神鍋高原マラソン全国大会、全日本かくれんぼ大会）